

# 中広中学校だより

平成22年6月30日(水) NO. 7

校交 言川 . . . 清 純 . 平 和 . 希 望

学校教育目標 . . . 「心身ともに健康で、社会に役立つ自主的行動のできる生徒を育成する」

広島市立中広中学校

## キラリ，個性 . . . 輝く子どもたち

~~~~子どもたちは未来からの留学生~~~~

今、学校では3年生への校長面接を行っています。5月からスタートさせたのですが、様々な行事の合間を狙ってお昼と終学活後に、1日に3~5人のペースで実施中です。1組から始めてまだ、2組の途中ですが、事前にアンケートをとっています。その項目は、将来の夢、自分に自慢できるところ3つ以内を聞いています。以下は、その中の将来の夢についての回答です。

**質問1** あなたの将来の夢はなんですか？

(順不同)

・アナウンサー。 ・まだ決めてません。やってみたいことはたくさんあるけど、将来の夢まで発展してないから。 ・今は特にないですが、教師には少しあこがれました。あと、広商にがんばって行こうと思っているので、行けた場合は、広商などの活かせる仕事に就きたいと思っています。 ・公立高校に入って大学を出て、パティシエになることか、大学を出て公務員になること。 ・保育士 ・具体的には決めていないがすることが面白そうな仕事につきたいです。 ・とりあえず今は高校に受かりたい。公立の商業に入りたいです。 ・まだ決まっていないが、働いて人のためになるようにしたい。 ・人の役に立つ仕事(ほかの人のために何かできる仕事)。 ・特に決めていません。ひとまず公立高校へ行くことが今の目標です。 ・まだ特に決まっていますが、安定した収入があり、人の役に立てる仕事に就きたい。 ・東京に行って、大学行って一人暮らしして、バリバリ働ける女になりたいです。 キャリアウーマン。 ・プロ野球選手。 ・かっこいいダンサーになりたいです。 ・まだ決まっていないが、働いて人のためになるようにしたい。 ・服飾関係、高校卒業後、東京で服飾関係の学校へ行きたい。卒業後、フランス(パリ)かアメリカ(ニューヨーク)に行つて勉強したい。 ・人の役に立つ仕事(ほかの人のために何かできる仕事) ・特に決めていません。ひとまず公立高校へ行くことが今の目標です。 ・適当に楽をして金を稼ぐこと。 ・サッカー監督、体育教師。 ・誰もできなかったことをなすとげてみたい。 ・観音高校に入学する。 ・N響入団。 ・子どもにかかわる仕業(学校・保育園など)。 ・公立高校に進学すること、職に就くこと、子供に尊敬される大人になりたい、できるだけ長く野球を続けたい。 ・公立高校に行きたい。 ・特に決まっています。 ・僕の親はデオデオで働いているので、できれば父さんの後を継ぎたい。 ・サッカー選手です。もし、その夢がだめだったら1級の建築士になりたいです。 ロナウになる。 ・南国の島に住むこと。 ・プロ野球選手、ホームランを打つ。 ・まだありません。 ・保育士。 ・まだ決めてないけど、SAXを吹くとか、パティシエ。 ・特にないです。でも普通に職に就きたい。OL!。 ・まだないです。 ・動物が大好きなので、動物に関する仕事に就きたいです。 ・一応なれたら看護師になりたい。高校は皆実の看護科に行きたい。 ・パティシエになりたい。 ・翻訳家とか本の編集とか、本関係の



裏面に続く ⇒

仕事に就きたいです。あと、いろんな資格をとりたいです。 ・パティシエになること。

- ・保育関係の仕事。 ・具体的にはまだ決まってないけど、スポーツ関係のことはしときたい。できたらバスケットを教えたい。 ・まだ、ありません。 ・ネイリスト、ウェディングプランナー。
- ・トリマーです (ペットの美容室)。 ・仕事に就く

まだぼんやりとしていて、決めかねている人も少なくはありませんが、これら様々な夢を見るに、子どもたちなりに一生懸命に考えているんだなあと胸が熱くなります。

「子どもたちは、未来からの留学生です。」と表現された方がおられます。なかなか言えて妙な表現だと思えます。そうした留学生の夢の実現にほんの一部でも関わるといふ、我々学校教職員は本当に大切な仕事を任されているんだ、という思いを改めて考えさせられました。これからも、保護者・家庭と地域・学校がガッチリとスクラムを組んでいきたいと思っております。

## 進路を考える

### 15歳の春を目的・目標を持って迎えるために

今春、広島県内の中学校を卒業した生徒のうち、進路未決定者が平成22年3月末日時点で、500名を超えました。この数字は、昨年・一昨年と比較し、60名以上の増加となっています。15の春を迎え、4月から目標とする自分の進路所属がないまま、日々を送っているであろう卒業生の心情を思いやれば、あまりあるところです。

先日10日の新聞に、今春、就職が決まらないまま県内の高等学校を卒業した202人のうち、5月11日時点で93人の進路がいまだに決定していないという報道がありました。高校生のことだから・・・ではありません。中学校卒業後、進学・就職のどちらの選択をしても、最終的には、社会へ出て職につくことになります。ちなみに、ここ最近の就職状況はどうなっているのでしょうか。以下に県教委から公表された資料を紹介します。

◇ 近年の年度末3月末時点における県内高等学校卒業生のうちの未就職者

平成20年3月末 106人

平成21年3月末 154人

平成22年3月末 202人

◇ 就職希望者のうち、就職が決まっている生徒の割合 (内定率)

専門学科 ⇒ 97.0%

総合学科 ⇒ 95.8%

普通科 ⇒ 88.1%

これらの数字から就職状況が厳しいこと、特に専門性の高い学科の卒業生に比較して、普通科の卒業生の就職が厳しいことが分かります。進路選択に当たって、こうした現状も考えておく必要があります。

## お知らせ

☆食中毒警報発令

6月は食育月間ですが、6月11日(金)、広島県から県内全域に食中毒警報が発令されました。昨年は6月15日発令・10月5日解除でした。昨年よりも4日早くなっています。昨年は県内で51件の食中毒発生が記録されています。賞味期限・消費期限・保存期間などの確認とともに、手洗い・加熱などにも気をつけて発生を未然に防ぎましょう。